

2016年12月3日

Kyot. Prot. N. 96/2016
京都教区 共同宣教司牧ブロック
担当司祭および信徒の皆さんへ

京都司教 パウロ大塚喜直

2017年「ブロック大会」開催のお願い

1. 司教ブロック訪問の新しい形

わたしは、2002年からブロック司教訪問を行い、今年で15回になりました。毎回、その年の年頭書簡のテーマに合わせて、主日のミサの後、司教講話や分かち合いなどを行いました。来年から、ブロック司教訪問の方法を変更したいと思います。

■ 司教のブロック訪問

当初、京都教区共同宣教司牧ブロックが14ありましたので、14回の日曜日にブロック司教訪問を実施してきました。各ブロックには、3つから4つ、5つの小教区がありますので、数年かけてブロック内の小教区を巡回して、訪問してきました。

2016年4月から、共同宣教司牧ブロックが9つとなりました。来年からは、原則、各ブロックに、年1回司教訪問をしたいと思います。

■ 司教が参加する新しい「ブロック大会」(仮称)

これまでのように、司教が依頼するブロック司教訪問ではなく、各ブロックが、年に何回か行う自分たちのブロックの行事や集いとは別に、司教が参加する、仮称「ブロック大会」の開催を提案したいと思います。

ブロック(あるいは旧「地区」)で、年に数回、ブロック内の小教区合同で行う、いろいろな活動があります。たとえば、

- ◇ 第5日曜日のブロックのミサ
- ◇ ブロックの合同黙想会、典礼研修会、こどもの夏季キャンプ、など。
- ◇ ブロックの固有の行事(ウオーカソン、滋賀の安土セミナリオ祭、奈良の右近こどもまつり、……)

以上のような活動は、これからも継続してください。

来年から、上記の行事とは別に、司教が参加するブロックの集いを「〇〇ブロック大会」と称して、自分たちが取り組む宣教司牧について、自由にテーマを決めて、それにしたがって、プログラムを企画します。

1日のプログラムは、司教が司式する主日のミサを含んで、構成します。

■ テーマ

各ブロックには、ブロックの宣教司牧の長期計画があると思います。そして、このブロック宣教司牧計画は、「京都教区の福音宣教における5つの優先課題」と連動しています。

1. 共同宣教司牧を推進して、果敢に福音宣教する教会共同体になっていきます。
2. 滞日外国人の人々と連帯し、多国籍の教会共同体を作ります。
3. 青少年の育成に力を入れます。
4. 信徒の生涯養成と、信徒の奉仕職を充実させていきます。
5. 「社会と共に歩む教会」として、社会の弱者と連帯し、社会の正義と平和の問題に取り組みます。

第1の「共同宣教司牧を推進して、果敢に福音宣教する教会共同体になる」は大前提です。

第2から、第4までの3課題は、「多国籍の教会共同体作り」、「青少年の育成」、「生涯養成、信徒の奉仕職の充実」は、教会共同体の成員のための固有の課題です。

第5の「社会と共に歩む教会」は、フランシスコ教皇が言われるように、教会が社会に「出向いて行って」福音の喜びを社会にもたらすという課題です。社会の弱い立場の人々に寄り添い、社会の正義や人権、平和、環境などの問題に取り組みます。

そこで、ブロック大会のテーマの設定は、以下の3つの中からになります

①教会と福音宣教の理解； ②教会共同体づくり； ③社会への福音宣教

2. 「ブロック大会」の準備とプログラム

① 準備

その年の「ブロック大会」のテーマをきめたら、そのテーマについて、どのように取り組むかを検討し、数か月からブロックの小教区でよく準備してください。

そして、2か月前までに、司教に大会の概要をお知らせください。

② 日曜日主日のミサ

ブロックのすべての小教区の多くの信徒が「ブロック大会」に参加できるように、ブロック内の主日ミサについては、ブロックの事情に合わせて、工夫してください。その日の主日のミサは「ブロック大会」のミサのみで、各教会では主日のミサをしない、または、前日土曜日に主日のミサを行うなど、担当司祭団の判断にゆだねます。

3. 2017年 ブロック大会の日程

1	5月 7日	(京都) 山城ブロック大会
2	5月 21日	滋 賀 ブロック大会
3	5月 28日	(京都) 洛北ブロック大会
4	6月 25日	(京都) 京丹ブロック大会
5	7月 2日	奈 良 ブロック大会
6	9月 3日	(京都) 洛東ブロック大会
7	9月 10日	三 重 南 部ブロック大会
8	10月 1日	三 重 北 部ブロック大会
9	10月 22日	京 都 北 部ブロック大会